

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2022No.259】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：エクトル・ベルリオーズ

曲名：序曲《宗教裁判官》

演奏：トーマス・アデス指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/54288>

2022年9月11日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



以上の他に下記が演奏されました。

2022年9月11日

トーマス・アデス ヴァイオリン協奏曲《同心的な小道》

ペッカ・クーシスト(ヴァイオリン)

クイーン 《リヴ・フォーエヴァー》(ペッカ・クーシスト編)

ペッカ・クーシスト(ヴァイオリン)

ジェラルド・バリール 《Chevaux-de-frise》

トーマス・アデス 《皆殺しの天使交響曲》

今回も、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、仮想アース Crystal E の導入(27)で報告しましたようにスピーカーケーブルの途中と DA-3000 に自作の仮想アースが使用されています。

指揮のトーマス・アデスは、イギリスの作曲家で自身の作曲になるヴァイオリン協奏曲と《皆殺しの天使交響曲》も演奏されます。

ベルリオーズの序曲《宗教裁判官》は、ベルリオーズらしい色彩感に富んだ曲ですが、上述の仮想アースの効果で細かいところまで表現されています。

ヴァイオリン協奏曲は、現代曲らしく、ヴァイオリンとオーケストラの各パートの音の質感が仮想アースの効果で捉えられていました。特に低音楽器の響きが大ホールに回り込む様までリアルです。それに続くアンコール曲は、ヴァイオリンの微妙な弱音のボウイングが聴き取れました。

《Chevaux-de-frise》は、これもジェラルド・バリーの現代曲で複雑な和音構成ですが、濁らずに聴き取れました。

《皆殺しの天使交響曲》は、これもアデスの現代曲らしく、打楽器と管楽器の派手な勢いのある曲です。

今回は、ベルリオーズ以外は馴染みのない現代曲でしたが、複雑な音の構成が図らずも仮想アースの効果を確認することになりました。

以上